



2025年  
**4月**

日 曜	行 事	場所/主催	日 曜	行 事	場所/主催	日 曜	行 事	場所/主催
1 火	入園の会 入学受付 入学受付	山本保育園 山本小学校 祇園中学校	11 金	相談受付窓口 9:30～11:30	山本集会所 社協	22 火	子ども見守り強化の日 終日	防犯
2 水	サロン百歳体操(リモート配信) 10:00～ 相談受付窓口 9:30～11:30	山本集会所 社協 山本集会所 社協	12 土	第二東亜ハイツイいきいきサロン 10:00～ パトロール(見守り活動) 17:00～	第二東亜集会所 社協 青少協	23 水	下校指導 サロン百歳体操(リモート配信) 10:00～ 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 山本集会所 社協 山本集会所 社協
3 木	相談受付窓口 9:30～11:30	山本集会所 社協	13 日	連合睦会総会 10時～	山本小学校 睦会	24 木	授業参観・PTA役員決め 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 山本集会所 社協
4 金	相談受付窓口 9:30～11:30	山本集会所 社協	14 月	山本集会所 休館日		25 金	相談受付窓口 9:30～11:30	山本集会所 社協
5 土			15 火	1年給食開始	山本小学校	26 土	いきいきサロン 10:00～ 自転車ツーロックの日 13:00～	山本集会所 社協 防犯
6 日			16 水	下校指導 サロン百歳体操(リモート配信) 10:00～ 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 山本集会所 社協 山本集会所 社協	27 日	防犯定期パトロール 16:00～	防犯
7 月	山本集会所 休館日		17 木	希望懇談 相談受付窓口 9:30～11:30 いきいき100歳体操 (RED WAVE) 13:30～	山本小学校 山本集会所 社協 祇園西公民館 連合睦会	28 月	山本集会所 休館日	
8 火	始業式・就任式 始業式 始業式	山本幼稚園 山本小学校 祇園中学校	18 金	希望懇談 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 山本集会所 社協	29 火	昭和の日	
9 水	入学式 入学式 サロン百歳体操(リモート配信) 10:00～ 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 祇園中学校 山本集会所 社協 山本集会所 社協	19 土			30 水	代表委員会 下校指導 教育相談① サロン百歳体操(リモート配信) 10:00～ 相談受付窓口 9:30～11:30	山本小学校 祇園中学校 山本集会所 社協 山本集会所 社協
10 木	入園式 2～6年給食開始 給食開始 相談受付窓口 9:30～11:30 いきいき100歳体操 (RED WAVE) 13:30～	山本幼稚園 山本小学校 祇園中学校 山本集会所 社協 祇園西公民館 連合睦会	20 日					
			21 月	授業参観・懇談・説明会 あいさつ運動 町内 山本集会所 休館日	祇園中学校 民児協			

社会福祉協議会  
連合自治会  
民生委員児童委員協議会  
自主防災会連合会  
防犯組合  
公衆衛生推進協議会  
青少年健全育成協議会  
体育協会  
連合睦会  
子ども会育成会  
山本保育園PTA  
山本幼稚園PTA  
山本小学校PTA  
祇園中学校PTA  
山本保育園  
山本幼稚園  
山本小学校  
祇園中学校  
山本消防分団  
祇園西公民館  
やまもとLMOまちづくり  
カレンダー問い合わせ  
社会福祉協議会総務  
(受付窓口;古川 直輝)  
☎ 070-2352-6633



※青色回転灯防犯パトロールは、週2回の実施でしたが 現在は小学校の下校時全ての日に実施しています。(主催:防犯・LMO)



-----<お知らせ>-----「敬老フェスティバル」の開催日変更  
例年9月中旬に開催しておりましたが 今年は11月22日(土)「やまもとふれあい祭り」と一緒に行います。  
理由は 近年の猛暑で 参加者の熱中症が心配されるためです。  
「やまもとふれあい祭り」は 地域住民全員が集う 新たな行事です。

社会福祉協議会のホーム  
ページより、山本集会所の  
空き部屋の状況、活動  
クラブ、料金表が分かります。  
QRコードが変わりました。

新QRコード R6/6～



田子ノ浦部屋と連携

# 山本に相撲道場 文化発信の場に

## 安佐南区 年内開設 市民と交流

広島市安佐南区山本に相撲道場をつくること、県内の相撲ファンや住民が動いている。本相撲の田子ノ浦部屋（東京）と親交がある地元住民がいる縁で、計画が具体化した。住民たちは「山本から相撲文化の風を吹かせたい」と、年内の開設に向けて張り切る。（久保友美恵）

計画では、山本4丁目の飲食店「日本料理祇園ひらた」の敷地内に土俵と着替えや休憩ができる施設「田子ノ浦部屋 道場」（仮称）を造る。子どもが相撲を学べる機会を設けたり、部屋の力士



山本小で児童、園児と交流する田子ノ浦親方（中央）と力士たち

が市民や観光客と交流したりする構想だ。県内の企業経営者や地元の住民グループが資金を集め、部屋と連携しながら運営するという。

道場開設は、田子ノ浦親方（元幕内・隆の鶴）と旧知の住民が関係者に「相撲や力士の魅力、文化を発信する場を広島につくりたい」と語ったのがきっかけになった。親方が前向きだったのに加え、地元や企業経営者たちにも賛同が広がり、計画が動き始めた。

昨年12月には、地元の住民組織「やまもとLMO（エルモ）まちづくり委員会」の小堀昭男会長（74）が親方と初対面。相撲を通じた子どもの健康づくりや伝統文化の教育など幅広い分野で意気投合した。親方と力士4人は今月、山本小で地元の児童、園児と交流した。

広島では若い世代の相撲文化が下火になっている。高校相撲部は広島市内では2002年に養徳高（西区）が廃部し、ゼロに。県内でも竹原高（竹原市）にしかない。県内唯一の大学相撲部がある広島大（東広島市）も部員がゼロで、23年から休部している。

小堀会長は「地域に活気をもたらすチャンス。

地元で推進意欲をつくっていく」と意気込む。田子ノ浦親方も「遠くの蘭取より近くの三段目という言葉もあるように地元力士がいると地域が盛り上がるはず。相撲をやりたい子どもが広島から出てきてくれるとうれしい」と話す。

気をもたらすチャンス。